

岩手県陸前高田モビリア仮設住宅東集会所で 「太巻き祭りずし作り方教室」を行いました。

米穀機構では、被災地の早期復興を食の面から支援する取り組みとして、被災東北3県の岩手・宮城・福島各県の仮設住宅に居住されている方を主な対象に、千葉県の伝統郷土料理「太巻き祭りずし」の作り方教室を開催することとしています。

「太巻き祭りずし」は作って楽しい、食べておいしい、伝えて楽しい太巻きです。

第2回目として、岩手県で下記の通り開催しました。

1. 開催日時 平成25年10月26日(土) 10:00～
2. 開催場所 陸前高田モビリア仮設住宅東集会所
陸前高田市小友町瀬沢155-78
3. 協働者 モビリア自治会
NPO 法人陸前たがだ八起プロジェクト
4. 指導 千葉県伝統郷土料理研究会(講師4名)
5. 参加者 9歳～98歳までの32名



6. 作った文様

桃の花



バラの花



このほか、「奇跡の一本松」「満開の桜」「はねうさぎ」「椿の花」を講師が実際に作るパフォーマンスを実施。

7. 開催概要

- ①午前の部と午後の部の2回に分けて、講師1人と4人の仮設居住の方を1テーブル組として、4テーブルで実施。午前の部(10:00～)では「桃の花」を、午後の部(13:30～)では「バラの花」を作って試食会を実施。
- ②作り方教室では、各々のテーブル担当講師が参加者の進み具合に合わせてゆっくり教えながら作ったことから、参加者全員ほぼ模範通りの文様が出来上がった。ただ、出来上がりを見るまでは不安もあったようで、実際に自分で作った太巻きの切り口をみて「よかった」「上手にできた」との感想もありました。
- ③交流会では、自分で作った太巻きや講師4名が作った太巻きを「芸術だ」「食べるのがもったいない」「孫に作ってあげたい」と言いながら、楽しそうに会食していました。興味を持った方が他の文様にもチャレンジできるよう太巻き祭りずしの本を集会所に寄贈しました。